



パラオだより

第17号

パラオ人がみせる「居合（いあい）」



アルモノグイ州には、一振りの刀が残されています。それは、何十年も昔に、とある日本人が当時のアルモノグイ小学校の校長先生にゆずったものでした。写真はその刀です。刀を使うスポーツに「居合」というものがあります。これは日本の武道の一つです。

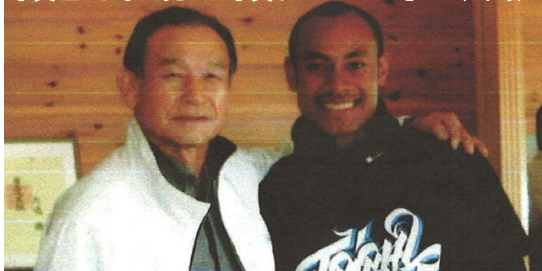
筒井先生は居合を習ったことはありませんが、説明だけならできるかもしれないと考え、勉強のため、香川県の居合道場の先生をつとめる「やなせ先生」という方に国際電話をかけてみました。すると、やなせ先生が昔教えていた生徒の一人がパラオ人だったことがわかりました。



そのパラオ人の正体は、ローレル・トリビオンさんという方で、2008年から5年間、香川県に留学しており、その時に居合を習っていたのです。しかもなんと彼はアルモノグイ州出身の方でした。こんなミラクルが起きるんだと感動しながら、筒井先生はローレルさんとお会いすることができました。



写真左：やなせ先生 写真右：ローレルさん（当時）



11/22アルモノグイ小学校ではサンクスギビングデーイベントが行われました。ローレルさんには、サプライズゲストとして登場してもらい、居合の演武をひろうしていただきました。パラオ人による日本刀の演武、それはとても迫力があるもので、みんなにとって忘れられない思い出になりました。

学校ニュース

野球隊員に来ていただきました

放課後運動教室がアルモノグイ小学校で行われています。2学期は野球をメインに教えていますが、筒井先生は野球が苦手です。低学年にどうやって教えるのがいい方法か学ぶため、今年から新しくパラオに来ていた野球隊員の方をお呼びしました。



さすが野球のプロ。子ども達が、楽しんで上達するような練習方法をいくつもお存じでした。ボールは体の近くでキャッチするのがミスしないコツだということを教えていました。やはり専門の方に来ていただくのが、一番みんなにとって良い方法だと感じました。来月は理科教育隊員をお呼びする予定です。

地域と文化

サンクスギビングデー

地域の方を招いて、学校をあげてのイベント「サンクスギビングデー」が行われました。昨年に続き筒井先生がこれに参加するのは二回目となります。だいたいの流れは去年と同じで、まずは子ども達が、ありがたいの手紙を両親に向けて読み上げました。



その後は、チームにわかれて、1か月間練習してきたダンスをひろうしました。筒井先生も何度かダンス練習に参加したのですが、パラワンダンスの独特の動きがどうしても覚えられず、あきらめました。根気が足りませんね。子ども達のダンスの後、サプライズゲストを紹介しました。ゲストの正体は左のページに書いてある通りです。